

第 2 回「こうとう未来ミーティング」実施結果

テ ー マ:エコ・ごみ・環境

開 催 日:令和 8 年 6 月 17 日(水曜日)

会 場:江東区文化センター

参加人数:23 名(うちオンライン参加 5 名)

実施形態:参加者によるグループワーク(意見交換)



■主なご意見・ご提案等

【グループ1】

- ・体験学習やワークショップの充実により、世代を超えた環境学習や交流を図るのはどうか。
- ・マンションにおけるごみ問題への対応や古着回収の充実を図るとともに、誰もが分かりやすくごみの分別ができる仕組みづくりを進めるべき。
- ・公共施設や緑地の環境性能向上など、環境に配慮したまちづくりを推進するべき。

【グループ 2】

- ・環境問題やごみ削減に取り組む区民、団体、企業、行政のつながりが十分に取れていない。
- ・子どもから大人まで幅広い世代が環境活動に参加できる機会を創出するべき。
- ・江東区らしい魅力や特色を生かし、ごみ問題や環境への取組を分かりやすく発信するべき。

【グループ 3】

- ・ 家庭ごみに占める割合の大きい生ごみの削減を重点的に進めるべき。
- ・ 生ごみの堆肥化を推進するとともに、区による回収・活用の仕組みを整備するべき。
- ・ 堆肥を農業や緑化に活用し、資源循環型のまちづくりを推進するべき。

【グループ 4】

- ・ えこっくる江東の認知度向上を図るため、施設名称の見直しや効果的な情報発信を行うべき。
- ・ えこっくる江東を拠点として、5Rの推進やごみの適正処理に関する環境学習・啓発活動を充実させるべき。
- ・ 一過性の取組ではなく、環境活動を継続・発展させる仕組みが必要ではないか。

【グループ 5】

- ・ 果樹等の実のなる樹木の植栽により緑の質の向上を図ることで、環境対策とコミュニティ形成のきっかけづくりになるのではないか。
- ・ 集合住宅等の屋上を活用した太陽光発電や屋上緑化を推進し、省エネと創エネの両立を図る。
- ・ 生ごみの堆肥化とその活用を進め、資源循環や緑化、地域コミュニティの形成につなげるべき。